

校長室だより

No.08

校長 大山 寛

みなさん、今日で後期前半が終わります。後期前半を振り返つてみると、西南文化の日、合唱コンクール、クラスマッチ、共通テスト、修学旅行など多くの行事がありました。みなさんは、行事や授業、部活動など、「凡事徹底」そして「自己への挑戦」「他への貢献」をもとに、それぞれが精一杯取り組んで「躍進」してきましたこと思います。頑張ってくれた皆さんに心から感謝をしています。

さて、「他への貢献」について少しだけ話をします。

皆さんは、青少年赤十字、JRC、という言葉を覚えていませんか? 「青少年赤十字」すなわち「JRC」は「Junior Red Cross」の略です。西南中もJRCに加盟していますので、西南中の生徒全員、この青少年赤十字の一員というこ

とになります。しっかりと覚えておいてください。このJCRの精神は、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、皆さん青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的としています。簡単に言うと、世の中に貢献することで、自分自身を成長させていくこうということです。いつも言つてますが、「他への貢献」は、「廊下のゴミを拾つたり」「教室の机を並べたり」「まわりの人に挨拶をしたり」と身近な貢献から始まります。「他への貢献」、ぜひ意識して行動に移していくほしいと思います。

最後に、3年生の皆さん、受験は団体戦です。自分の夢に向かってまわりの人たちと一緒に全力で取り組んでいくください。1、2年生の皆さん、冬休み、および後期後

冬休み、M.Y.プロジェクトの、「朝・自分で起きる」、「朝食を食べる」、「計画的に学習する」の3つを実践するとともに、病気や事故がないようにしっかりと注意して、生活を送ってください。

また、今日は、皆さんの先輩である本校卒業生、熊本県警勤務で、剣道世界大会で優勝した日本チームの主将、渡邊タイさんに講演をしていただきまます。皆さんの今後の人生の1つの道しるべとなるようしっかりと講演を聴いてもらいたいと思います。

前期後半終了 ～ゴールはもうすぐです～



本校卒業生の 渡邊 タイ さんによる講演の様子です
先輩の熱意が西南中生にしっかりと伝わりました！

期前12月24日(火)に後半が終了しました。今回の冬休み前集会は、感染症拡大防止のため、一部オンラインにて開催いたしました。部活動等の表彰もオンラインで行いましたが、どの生徒も素晴らしい返事や所作でした。この調子でさらなる「自己」への挑戦に取り組んでほしいと思います。表彰後、校長先生からのお話をいたしました。(内容は左記)

また、生徒指導の松浦先生からは一年間の節目となる冬休み期間の生活について話がありました。そして、生徒が皆さんに守つてほしの三つのもの、「命」「信頼」「学力」について伝えられました。どの学年も冬休み明けにはテストが実施されますが。ゆっくりと休むことも大切ですし、学習などの自分磨きもしてほしいと思います。

渡邊さんは本校の三嶋先生の教え子であります。剣道を小学校から始め、数々の挑戦を経て、全日本大会で優勝を果たし、世界大会にも参加するなど、素晴らしい成果を上げてこられました。渡邊さんは、「諦めない心」「感謝する心」「困難から逃げない心」の3つの心を大切にしており、この心を西南中生にも伝え、夢を追い続けることの大切さを強調されました。渡邊さんの話を通じて、生徒たちはこれからの人

ここ一ヶ月間、朝の校舎周辺を見てみると、2名の男子生徒が敷地内の掃除を行っています。話をきいてみると、なんとなく始めたことが、周りの人から感謝の気持ちやお褒めの言葉をもらつたことで、気持ちよくなつて続けていふとのことでした。西南中では、帰学活の時間に「ちょボラ」(ちょこつとボランティアの略称です)と

「自主性」を醸成していく。しかし、この二人の男子生徒は誰に言われるでもなく、自ら進んで取り組んでおり、自らが考えて動く「主体性」が育っています。二人は三年生です。もう少しで卒業となりますが、高校生になつても、大人になつても、きっと他の貢献を行うことができる素晴らしい人になると思します。こんな素晴らしい生徒がうなづかと西南中のよかとこでました。

学校ホームページ更新中！



左記QRコード読み取り電子媒体でご覧の方はQRコード自体をタップすればページにジャンプします。

『主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する生徒の育成』・『凡事徹底』、そして「自己への挑戦」・「他への貢献』

西合志南中学校
学校通信
令和6年12月24日
第 8 号
発行責任者
大山 寛
井上 竹久

11

ご覧の方はQRコード
読み取り
で
お読み
ください。